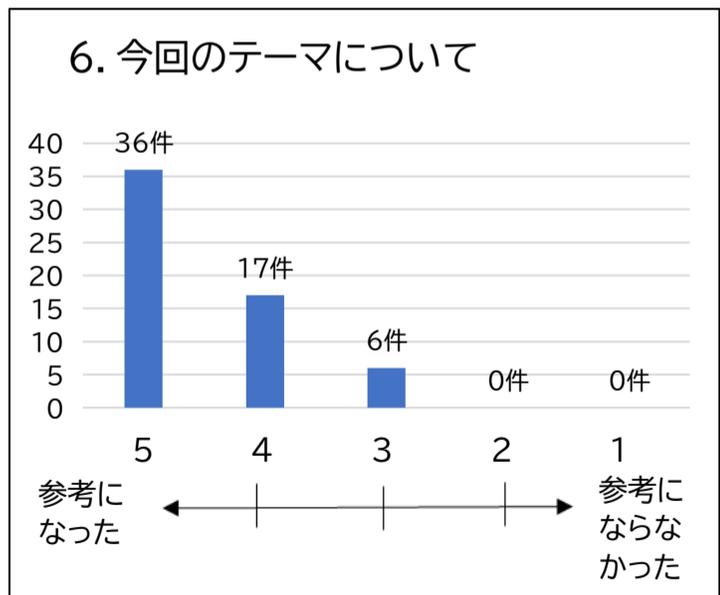
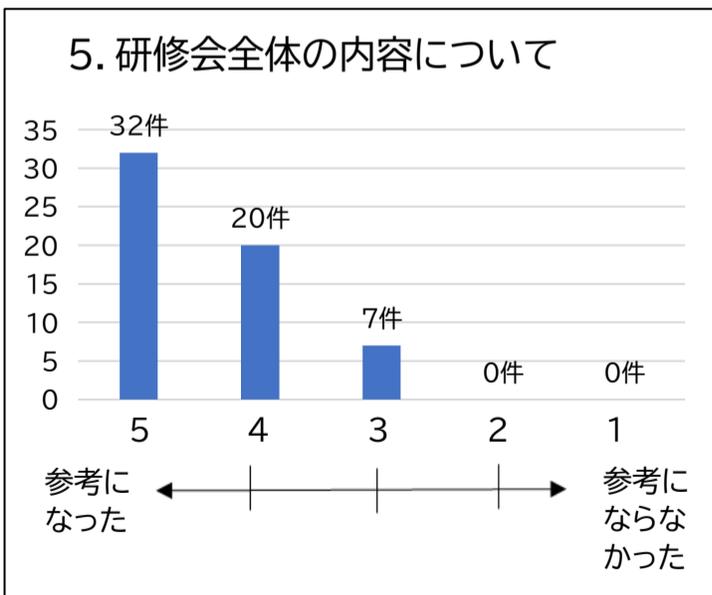
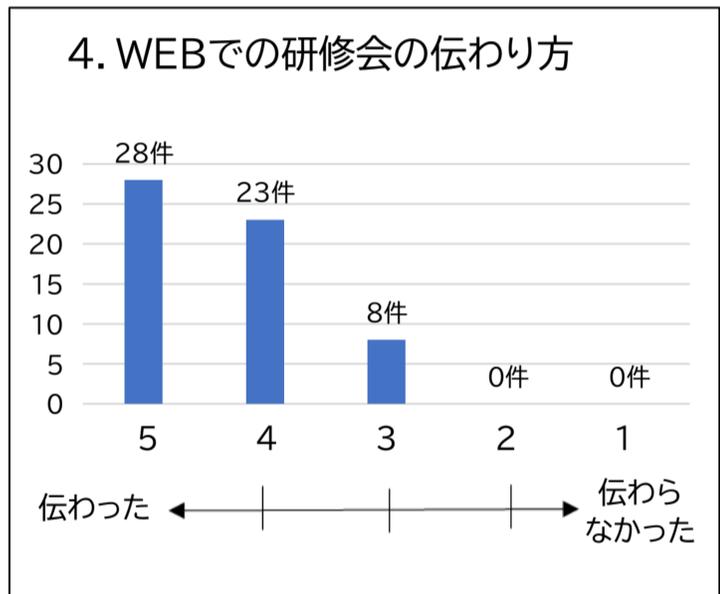
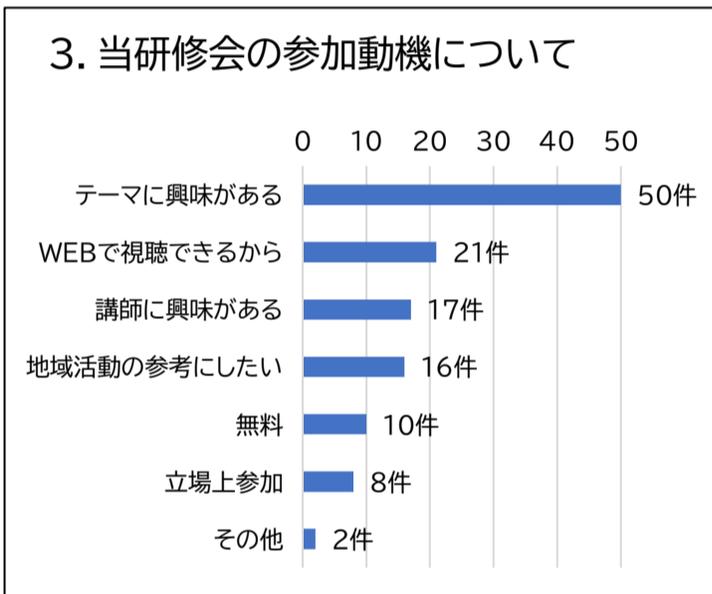
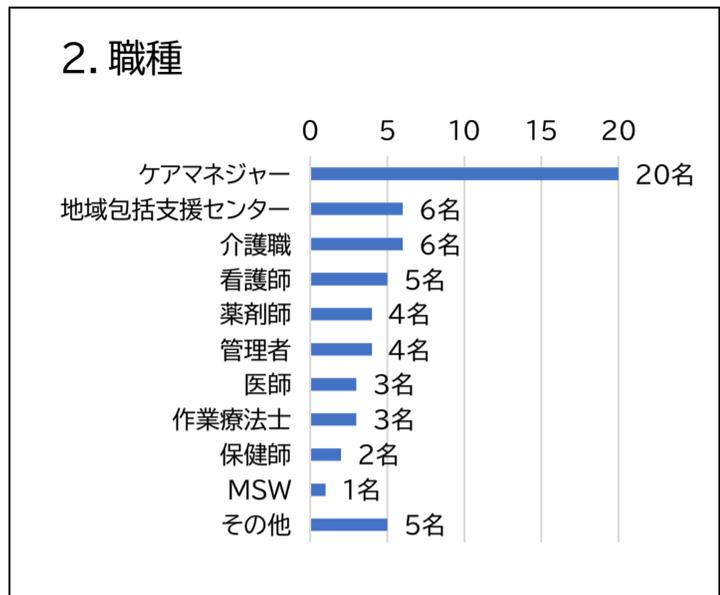
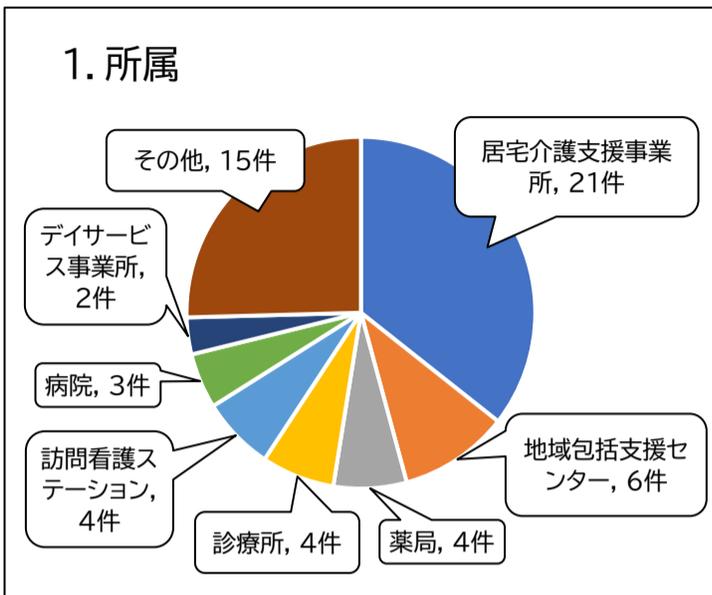
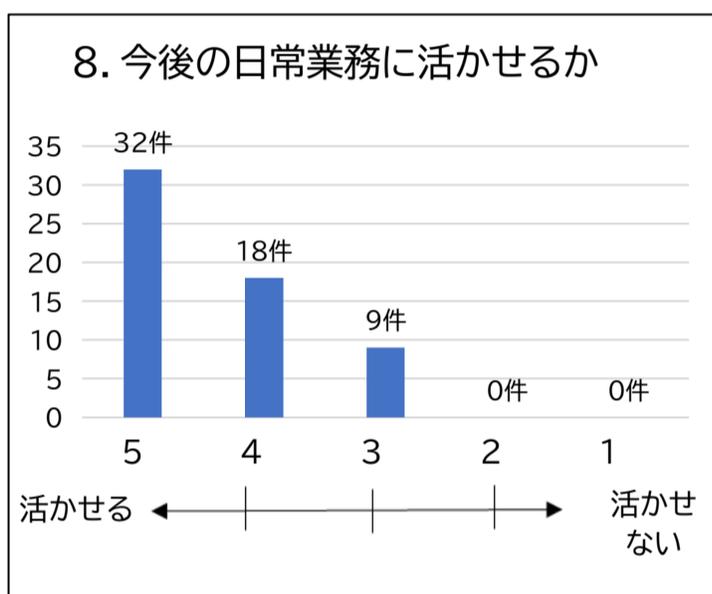


令和4年度 認知症対応力ステップアップ研修会(R5.2.25～3.5開催)
 テーマ『これって虐待かも？なんか変かも！～その違和感を大切にしましょう～』
 再生回数:507回(視聴回線数:220件)
 参加申込者:275名 アンケート回答者:59名



7. 6の理由(アンケートより一部掲載)

- ・ 基礎から丁寧に虐待の考えの流れが理解できた
- ・ 虐待のアセスメントの確認ができた。
- ・ 事例を交えながら考えさせる内容だったのでわかりやすかった
- ・ 認知症だけではなく、もの忘れに対しても、医療、地域連携が形成されつつあることを知った。
- ・ 予測からアセスメントする為、現場を先入観でみていないか不安に感じた。
- ・ 支援者の皆さんが、どのように虐待に対応しているのか、また、通報するに当たっての不安など、よくわかりました。
- ・ 虐待については、よほどよく患者さんを観察しないと見抜けないと思う。
また、虐待をしている人についても、精神的負担が大きくなっているの、そこにもサポートの手ものばしていかなければいけないと思いました。
- ・ 虐待の現状について学び、そこへの気づき、その後の対応について理解することができました。課題も多いと感じましたが、虐待者を守るための法律について知れて少し安心しました。
- ・ 「違和感」を感じる視点が学べた
- ・ 難しいテーマであったが、具体的で、ウェブではあるが参加型であった為受け身的ではなく考えるきっかけとなった。
- ・ 虐待をするつもりがない虐待もある。病気の理解度が低いことからくる事もある。見方が参考になりました。



9. 8の理由(アンケートより一部掲載)

- ・ 虐待の芽にきづくことの大切さを「違和感」という身近なフレーズで教えていただいたことで、実践しやすい、また続けやすい印象を持つことができました。
- ・ 薬局なので、患者さんの身体に触れることはないため、あざなどは分かりません。
ただ、お子さんが高齢者の方を連れてこられるときに、きつい言い方などが見受けられることがあり、今後注意していきたいと思うと同時に、お子さんにも「頑張ってますね」等の声掛けをしていきたいと思いました。
- ・ 来局時のご家族とご本人様のお話から、威圧的に話してないかなど、虐待がないか改めて考えることが出来ると感じた。
- ・ 例を示したり、研修の中で個人ワーク時間を作っていたり、とても丁寧に具体的な構成になっていたため、日常業務とリンクすることが容易であり、自分の業務にすぐに活かせることができますと思います。
- ・ モニタリング訪問時など、ちょっとした違和感や変化を感じ取ることを意識するだけでも、早期発見につながる事ができると感じた。自宅内や本人・家族の様子・言動一つ一つに注目することができるようになりたいと思った。
- ・ 自分が感じる違和感を大切に、地域包括支援センターなど相談窓口で相談、発信できるようにしたい。
- ・ 何気なく見過ごしてしまいがちな乱雑な自宅や痣が虐待発覚の糸口になる可能性があるということで、今後注意していきたいなと思った。